



# 19万人のひろば

八千代市イメージキャラクター「やっち」

## 素早く、正確に、美しく

### 消防団消防操法大会を開催



▲今年は消防団の前身である消防組の結成から120年目という節目の年

6月23日、消防団消防操法大会が総合運動公園多目的広場で行われました。

競技はホース延長や放水の構えなど、決められた一連の動作についてタイム、正確性、礼節を総合的に判断して競われます。今年は6つの分団が日頃の訓練の成果を披露し、第8分団が優勝しました。同分団は、6月30日に千葉市で開催された千葉支部大会に出場しました。

## プレーと応援で両校の絆を深める

### 八千代中と八千代台西中が部活動交流戦

八千代中学校と八千代台西中学校の部活動交流戦が今年度初めて行われました。これは5年目を迎えた「子どもサミット」の一環としての試みで、八千代台地区に住む中学生同士が、学校という垣根を超えて一体感や絆を深めようと子どもたちが提案し、実現したものです。

6月22日、サッカーやテニス、バレーボールなど10種目の運動部生徒550人が八千代台西中に集結。体育館とグラウンドに分かれ、白熱した試合を繰り広げました。自分たちの試合以外の時間は他の競技を観戦するなど、プレーだけでなく応援でも両校が交流しました。

「他の競技を応援した後に自分の試合をしたのは初めて。新鮮だったし、みんなが一つにまとまった



▲開会式では両校の部長が集まり選手宣誓をしました

気がします」と生徒の一人。会場では小学校卒業以来の再会もあり、あちこちで旧交を温める場面もありました。最後は両校のエール交換で閉会し、お互いの健闘をたたえ合いました。

## 華麗にシュート

### 5回目を迎えた電動車椅子サッカー大会



▲競技は4人一組で対戦します

6月15日、電動車椅子サッカー大会が市民体育館で開催されました。「足を使わないサッカー」と言われるこの競技は、車椅子の前面に付けたフットガードで直径32.5センチメートルのボールを操る、障害や年齢、性別に関係なく楽しめるスポーツです。

「ゆっくり、いっしょに、たのしく」を目標に平成21年にスタートしたこの大会は今年で5回目。市内チーム「クローバズ」と船橋市の「ウイニングフェニックス」の2チームが対戦したほか、障害のない人との交流試合も行われました。市内中学校のサッカー部員が応援団として観戦するのもこの大会の特徴の一つ。「みんなの応援が選手たちの励みになる。こんなに盛り上がる大会は珍しいんですよ」と大会を運営する吉野真里子さん。鮮やかにシュートが決まると敵も味方もなく「ナイスシュート」と応援団の大きな歓声がわきました。



## 選択届け出は7月31日までに

### 1%支援制度シンポジウムを八千代で開催

6月29日、市民会館で1%支援制度のシンポジウムを開催しました。基調講演やパネルディスカッションを通して、市民、団体、行政それぞれの立場における制度の趣旨や活用方法について考えたほか、支援対象団体による活動PRも行われました。この日は、市民や活動団体の関係者だけでなく、全国で同様の制度を実施している自治体職員も参加しました。

皆さんが支援したい団体を選ぶ、「選択届け出」は7月31日(水)まで受け付けています。詳しくは広報やちよ6月15日号か、コミュニティ推進課☎483-1151へ。



▲約120人が参加し活発に話し合いが行われました



## リサイクル・ガイド

消費生活センター ☎485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日・祝日を除く午前8時30分～午後5時まで(午後4時～5時は☎483-1151へ)。交渉は当事者間で行い、結果は必ず同センターに報告してください

【あげます】▶エプソンプリンターインク (PX-A550・650とPX-V500・600・630) ▶手押し芝刈り機

▶食器洗い機 (ナショナル60SSJ-S、7～8年前のもの新品) ▶シングルベッド (マット付き)

【ゆずって・有料】▶大和田中学校上下ジャージ

## 八千代歌壇

### 八千代市短歌会選

表紙の取材を終えて、エレベーターや自動券売機などの点字に自然と目が向くようになりまし  
た。家ではシャンプーやケチャップのボトル、洗濯機・電子レンジのスィッチなど、多くの製品に点字やバリアフリーのマークがあることに初めて気付きました。ほかにも毎晩お世話になっている缶ビールのふたにも点字が。意識や関心を持つことで、見えてくるものがあることを実感しました。  
今回の表紙でさまざまな福祉体験した子どもたち。点字や手話が必要としている人と出会ったときには、これまで以上に優しい気持ちで接してくれることでしょうか。

先ず庭をほめて名を告げおもむろに二人の神徳神の道説く  
(八千代台南) 一戸 光代

年々に多くの人と別れて今年も咲くかハンカチの花  
(八千代台東) 森野 豊作

黄の色のもっこう薔薇に囲まる家の家族は幸せならむ  
(大和田) 紺野 正勝

父祖の家絶えて久しく裏山は彩なすつつじに季蘇る  
(大和田) 有里 侑起

藍と白リトルピープル集い咲きあじさいの花大きく咲く  
(八千代台北) 石川 静子

夫の形見の雪椿の葉を食い荒す毛虫の言い分聞かぬ許さぬ  
(大和田) 坂井 ワカ

鉄の音パチンと聞けぬ開札口乾きし音にカードを合わす  
(八千代台西) 吉田 早苗

壁際に残る落書き孫去りて幼言葉も消えてふた月  
(大和田) 秋山富美子

選評 一首目、このような場面は日常的によくある事で、訪問者によってはあと味の悪いものになってしまう。先ず庭をほめて名を告げて神について語る。この様なゆとりを持って接して欲しい作者のゆたかりとした性格にもよるが、後味のよい作品になった。二首目、別れのうたです。親しい人と今もこんなにも親愛の情は深いのに、別れてゆく季節があるのです。それぞれの人生の距離を思いつつうたっている。三首目、結句に作者の優しい心が言葉になって読む人の気持ちをもたせられる。

## やちよ川柳

### 八千代川柳連盟選

長電話昔話で電池切れ萱田町小林 正人  
母傘寿家族写真の中で笑み緑が丘黒木 麗  
みかけより機能で決めたマイホーム勝田台鈴木 紀子  
つま先を上げたつもりのおととと大和田新田 比気 よね  
母の忌に母のレシピのちらし大和田 羽生田はる  
船人も国際色の隅田川大和田新田 羽生田はる  
紫に黄と白添える菖蒲園米 本山崎すず夢  
独り寝に月影満ちて友となる村 上千葉 耀子